

- (高尾) 個人情報でもあり、難しい面もあると思うが、今後も作っていけるようにしてほしい。
- (高尾) 池田氏へ。今後、就労継続支援事業所としての地域の中での役割について聞きたい。
- (池田) グループホームや入所施設の必要性を強く感じている。利用者や保護者が将来的にどうしたいのかを聞き取り、考えていきたい。
- (高尾) ネットワーク支援を作り出すことは大事である。同時に本人の願いや目標などを大切に考えていくことも大切だ。
- (高尾) 南島氏へ。施設職員の専門性の高め方についてお聞きしたい。
- (南島) 今後、看取りや医療的ケアが必要になれば、次のステージになる。現時点で施設での認定を受けていない為、特別養護老人ホームや介護保険適用型のグループホームへの移行で対応している。専門性となれば、問題行動への対応、身体介護の方法など高齢者サービスのノウハウを取り入れていく必要がある。特に口腔機能の課題を持つ方が多いので、そのことも考えている。
- (高尾) 重度の方のサービス利用者の増え方に対して、職員の技術の向上がについていけないことも問題が起きている一要因かもしれない。この点は、どこの施設においても今後の課題となっているのではないだろうか。
- (高尾) 中島氏へ。地域の実情やこれから必要と感ずることについてお聞きしたい。
- (中島) 身体・精神・知的・重度の方に必要な具体的なサービスを考え、国の施策に盛り込んでいく運動をしていきたい。サービスの枠が現状に合っていないことも多く、地域での居住支援のために機能を強化していくことが大切である。

《まとめ》

- (高尾) それぞれの立場から、その役割や現状、課題について意見を聞くことができた。地域の中で、障がい者が、障がいがある前に一人の人間としてよりよく生きていく上でも、以下のことが大切になると思う。
- 第1に、本人や家族の意思を尊重した支援の在り方を考えていくこと。第2に、生活の安心を保障するために、一法人や事業所では限界があるのでネットワーク支援体制をつくること。第3に、行政・地域・教育・医療等をまとめ、支援を充実できるようなコーディネーターを育成すること。第4に、安全・安心・安定して暮らすために、セーフティーネットを構築すること。地域協議会などの地域支援の拠点となるものの設置が急務である。

本人分科会

テーマ「仲間との語らい」

～自己紹介・仕事のこと・一番楽しいこと・これからの夢～

- * 助言者：唐津特別支援学校 進路指導主事 小野 美保 先生
- * 司会者：えがおの会（まごころ授産所） 入江奈瑠美 さん
- * “ ”：小麦の家 山口 舞 さん
- * 発表者：にこにこいまり 満野 史郎 さん
- * “ ”：JA伊万里チキンフーズ 平川 由美 さん
- * “ ”：ソラシド 山崎 悠希 さん

○発表① 満野史郎さん（にこにこいまり）

- ・「にこにこいまり」で紙すきの仕事をしている。
- ・楽しみはボウリングクラブ、スイミングクラブ、ゲーム
- ・将来は一人暮らしをしたい。
- ・3年前、一人暮らしをしてみたが、片付けやゴミの始末ができなかったのでやめた。
- ・今は自分の部屋の掃除を頑張っている。

(小野先生) 1ヶ月一人暮らしの体験をされたのはすごいですね。どうして一人暮らしをしたいと思ったのですか。やってみたかった？かっこいいと思ったからかな？片付けが難しかったのですね。片付けを頑張らないといけませんか？

(満野) はい。

(小野先生) これから一人暮らしの練習をするのですか？がんばってください。

(満野) わかりました。